

平成28年

秋の全国交通安全運動

期間 平成28年9月21日(水)~9月30日(金)までの10日間

運動のスローガン

身に付けよう
正しいルールと
反射材

準備よし! 子供と高齢者の交通事故防止
あなたを守る反射材

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)

- ★ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ★ 飲酒運転の根絶

9月30日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です
秋の全国交通安全運動
平成28年9月21日(水)~9月30日(金)

内閣府

年間スローガン

みんながね
ルール守れば
ほら笑顔

運動の基本

子供と高齢者の交通事故防止

運動の重点

- 1 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- 2 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶

主唱 福島県・福島県交通対策協議会



運動の基本 子供と高齢者の交通事故防止

子供の交通事故被害状況

7月31日現在、子供の交通事故死者は3人です。(前年同期比+3人)、傷者数は161人(前年同期比-67人)で、死傷者の主な内訳は車両同乗中が92人、自転車乗用中が31人、歩行中が40人です。

特に、幼児は車両同乗中・歩行中の被害が多く、小・中学生では学年が上がるに従い、自転車乗用中の被害が増えています。



子供の交通事故を防ぐには



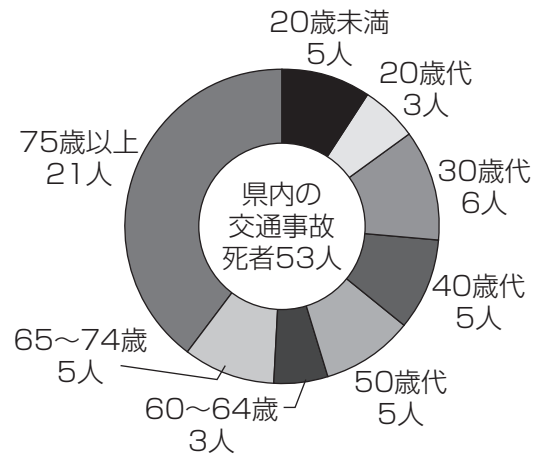
- 道路を横断する時は、急な飛び出しをしないよう「止まる・見る・待つ」の正しい道路横断方法を習慣づけましょう。
- 運転者は、通学路や生活道路等では、子供の飛び出しなどに注意し、スピードを落として安全に走行しましょう。
- 運転者は、子供を車に同乗させる際には、必ずシートベルトやチャイルドシートを正しく着用させましょう。

高齢者の交通事故被害状況

7月31日現在、県内の交通死亡事故は52件53人(前年同期比+10件,+11人)です。

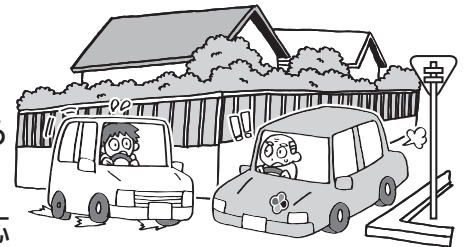
65歳以上の高齢者で交通事故で亡くなられた方は、26人(前年同期比+1人)で全死者の約49%を占め、傷者は607人(前年同期比-102人)となっており、特に、亡くなられた方の被害状況の主なものは、歩行中が11人、四輪車乗車中が9人、自転車利用中が3人となっています。

死者の年齢別内訳(H28.7.31現在)



高齢者の交通事故を防ぐには

- 夕暮れ時や夜間に外出する際には、明るい目立つ色の服装や反射材用品等を活用しましょう。
- 高齢者は、道路を横断する際、左右の安全を十分に確認し、近づく車が見えたら無理に渡らず、通りすぎるのを待ってから横断しましょう。
- 自転車を運転するときは、前方注視を怠らず、道路形状に応じた安全なハンドル・ブレーキ操作をしましょう。
- 高齢運転者は、参加・体験・実践型の交通安全教室などに積極的に参加して、自己の運動・運転能力等の変化に応じた安全運転を実践しましょう。
- 運転者は、高齢者や高齢者マークを付けた車両を見かけたら速度を落とし、「目配り」「気配り」「思いやり」のある運転に努めましょう。



運動の重点1 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止 (特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)

昨年の交通事故発生状況

昨年、県内では6,894件の交通事故が発生し、うち夜間に発生した事故の割合は年間で約27%でした。うち、9月から12月にかけては約35%と夜間の事故の割合が高くなっています。

例年、秋口からは日没時刻が早まり、帰宅時間と重なるため、交通事故が多発する時期です。

特に、日没時刻の前後2時間は重大事故が多発する時間帯ですので、夕暮れ時や夜間の交通事故に遭わないよう注意しましょう。

夕暮れ時や夜間の交通事故を防ぐには

歩行者は

- 外出時に、明るい目立つ色の衣服や履物を着用し、携行品などに反射材等を組み込み、懐中電灯を使用しましょう。
- 車両接近時には無理な横断はしないことを心がけましょう。

自転車利用者は

- 反射材用品を取り付け、夕暮れ時の早めのライト点灯を習慣づけましょう。
- 自転車の点検整備を実施するとともに「福島県自転車安全利用五則」を始めとした交通ルールを守り、危険行為などをしないようにしましょう。
- 自転車利用者も交通事故の加害者になることがあります。被害者救済に資する損害賠償責任保険等に加入しましょう。

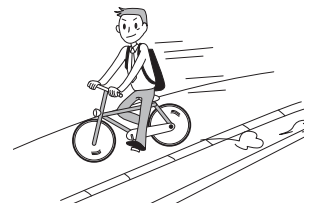
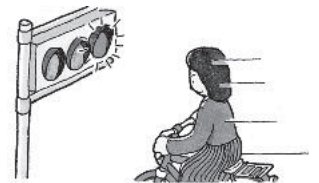


自転車運転者講習制度について

平成27年6月1日、道路交通法の改正に伴い、自転車運転者講習制度が施行されました。

自転車運転者講習制度について

3年以内に2回以上「危険行為」をくり返すと、有料(標準額5,700円)で講習を受けるよう県公安委員会から命令があります。講習の受講命令に違反した場合には、5万円以下の罰金が課せられます。



【福島県自転車安全利用五則】

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルール・マナーを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯・反射材着装
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
 - 運転中の携帯電話・ヘッドホン使用、傘さし運転の禁止
- 5 被害軽減のためヘルメット着用に努める

ドライバーは

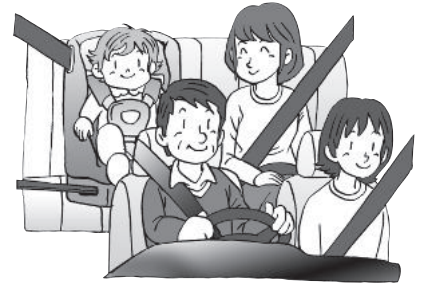
- 夕暮れ時から夜間においては、歩行者や自転車の発見が遅れがちになります。交通事故が多発する時間帯であることを認識し、「夕暮れ時の早めのライト点灯」をしましょう。
- 道路横断中の歩行者等との衝突事故防止のため、「原則上向きライト(ライトのこまめな上下切替え)」及び「スピードダウン」を励行しましょう。



運動の重点2 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

シートベルトはあなたと同乗者の命綱

7月31日現在、県内の四輪車乗車中の事故死者は26人(前年同期比+8人)、うち10人はシートベルトを着用していませんでした。5人はシートベルトを着用していれば救命効果があったと思われます。



	全交通事 故死者数	うち四輪車乗車中 の死者数	うちシートベルト非着用 の死者数	うちシートベルトによる救命 効果があったとみられる人数
28年 1/1~7/31	53人	26人	10人	5人
27年中	77人	30人	16人	13人

シートベルト非着用の3つの危険!

1 車内で全身を強打する!

時速60kmで壁等に激突すると、高さ14mのビルから落ちるのと同じ衝撃を受け、全身がハンドルや前席、天井等にたたきつけられます。

2 車外に放出される!

衝突の勢いが激しいと、窓等から車外に投げ出され、路面に体を強打したり、後続車にひかれる可能性があります。

3 同乗者に被害を与える!

衝突の勢いで、後部席同乗者が前の座席にぶつかり、前の席の人がシートとエアバッグに挟まれ、頭に大怪我をする可能性があります。

- 運転席、助手席はもちろん、後部座席についても正しく着用しましょう!
- 子供の命を守るため、体格に合ったチャイルドシートを正しく使用しましょう!

運動の重点3 飲酒運転の根絶

県内の飲酒運転による事故の状況

7月31日現在、飲酒交通事故(物損事故を含む。)は231件(前年同期比-24件)発生し、死傷者数は61人(前年同期比-9人)に上っています。



ハンドル
キーパー

飲酒運転を防止するには

「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」を徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。

- ・飲酒を伴う会合等では、車を持ち込まないようにしましょう。
- ・地域をあげてハンドルキーパー運動を推進しましょう。
- ・職場ではアルコール検知器を活用するなど指導しましょう。
- ・自転車も車両であることを認識し、飲酒後は自転車に乗らないことを徹底しましょう。

ハンドルキーパー運動

「自動車仲間と飲食店などに行く場合、仲間同士や飲食店の協力を得て飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人は酒を飲まず、仲間を安全に自宅まで送り届ける。」という運動



「交通事故死ゼロを目指す日」について

毎年、多くの方が交通事故により死傷しています。また、記録の残る昭和43年以降、毎日、交通死亡事故が発生している状況です。このような中、交通安全に対する国民の意識を高めるため、新たな国民運動として、「交通事故死ゼロを目指す日」を設けることとされました。今年の秋の全国交通安全運動では、9月30日が「交通事故死ゼロを目指す日」です。皆さん一人一人が、交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど交通事故に注意して行動することによって、交通事故をなくしましょう。

◎スマートフォン等の操作による交通事故の防止

スマートフォン向けゲームアプリ「ポケモンGO」の国内配信が始まり、爆発的な人気の一方で、様々な問題も発生しています。ゲームに熱中するあまり、自動車運転中にもスマートフォンの画面を見るなど、県内でも道路交通法違反で検挙された事例や交通事故も発生しました。

交通事故防止の観点から、歩きスマホや自転車・自動車運転中にスマートフォン等の操作を行わないようにしましょう。

交通安全に関するホームページ

県生活交通課 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/>
県警察本部 <http://www.police.pref.fukushima.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。